

意商（V3）システム刷新プロジェクトについて

2023年12月21日

意商（V3）システム刷新プロジェクト



1

V3刷新プロジェクトの概況

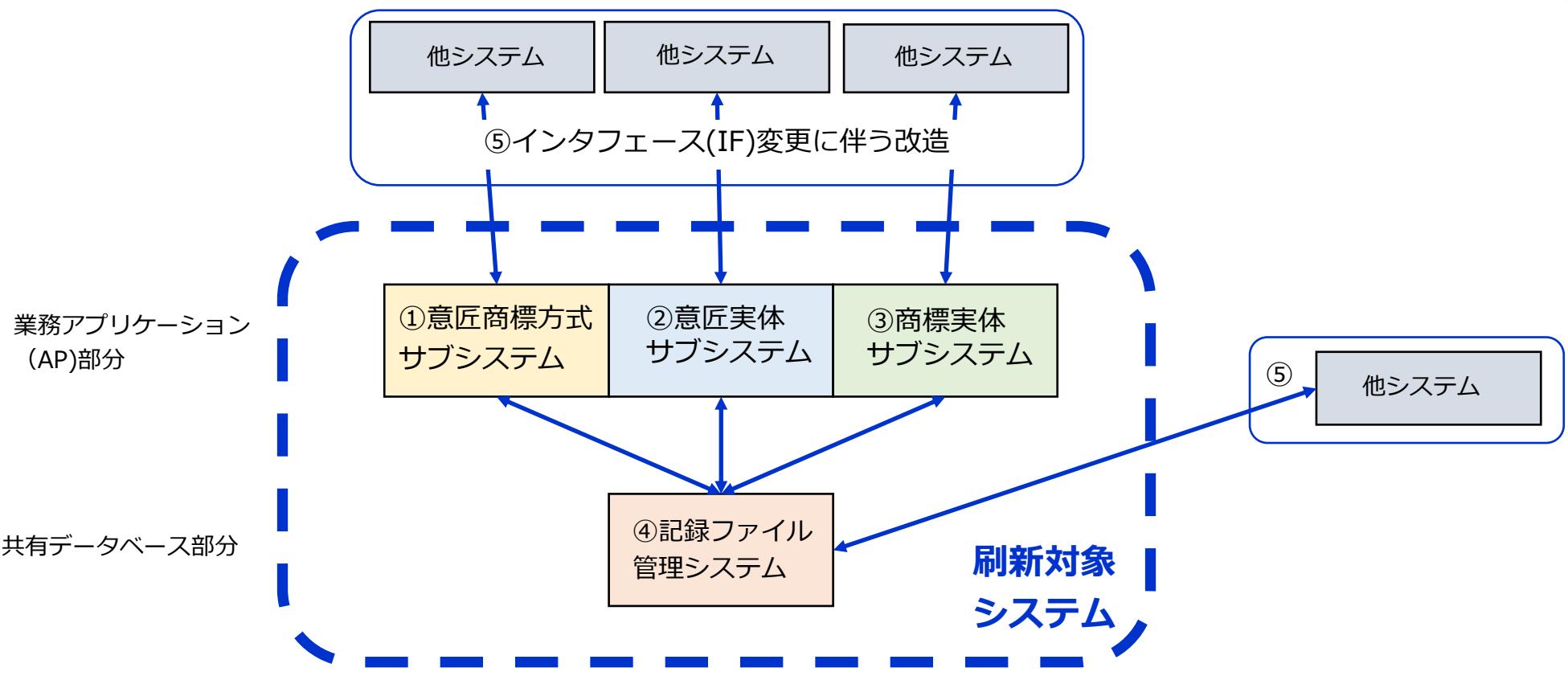
2

基本設計について

3

詳細設計について

1.1 V3刷新プロジェクトの概況 (V3システムについて)



- ①意匠商標方式サブシステム: 意匠・商標の方式審査を行う。
- ②意匠実体サブシステム: 意匠の実体審査を行う。
- ③商標実体サブシステム: 商標の実体審査を行う。
- ④記録ファイル管理システム: ①～③が用いる共有データを保持する。
- ⑤他システム: ①～④とインターフェース(IF)を持つシステム。

1.2 V3刷新プロジェクトの概況

- 業務AP：11月末に基本設計が完了。現在、詳細設計を実施中。
- 共有DB：2024年度よりV3業務AP向けのカスタムIFを開発予定。
- ハードウェア(HW)： 11月に設備条件整理が完了。現在、HW調達を実施中。

V3刷新の開発スケジュール

年度		2022					2023					2024					2025					2026														
月		11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
業務AP	①意匠商標方式サブシステム ②意匠実体サブシステム ③商標実体サブシステム	開発前準備		要件確定	基本設計					詳細設計					製造・単体テスト					結合テスト					総合・受入テスト・移行											
共有DB	④記録ファイル管理システム	標準IFの設計・製造・テスト		V3業務AP向けのカスタムIFの設計・製造・テスト (予定)																																
HW	意匠商標審査・基盤サーバ	設備条件整理					HW調達					HW導入 (予定)																								

1.3 プロジェクトの特性と方針

プロジェクト特性

- 大規模システム開発プロジェクト
- 現行システムのHWサポート期限を踏まえたサービス開始時期の厳守が必要
- 先行刷新で実績のある開発、管理プロセスおよび反映すべき教訓が存在



プロジェクト方針

プロジェクト実施計画書に以下のプロジェクト方針に対応する各種取組を記載すると共に、開発前準備期間中にプロジェクト方針に沿った準備を実施

- a. 迅速な課題解決
- b. 進捗管理の徹底
- c. 手戻り防止の徹底
- d. 先行刷新の教訓活用

2.1 スケジュール

- 各サブシステムの基本設計を2023.5~2023.11の7ヶ月間で実施

業務AP開発・移行スケジュール

年度	2023												2024												2025												2026																
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9											
マイルストーン																																																					
業務AP開発	①意匠商標方式サブシステム ②意匠実体サブシステム ③商標実体サブシステム	 2023.11末 基本設計完了 2024.7末 詳細設計完了 2025.1末 製造・単体テスト完了 2025.12末 結合テスト完了 2026.9 リリース▲																																																			
要件確定		基本設計 (7ヶ月)			詳細設計 (8ヶ月)				製造・単体テスト (6ヶ月)			結合テスト (11ヶ月)				総合・受入テスト (8ヶ月)																																					
確認	基本設計 (3ヶ月)			詳細設計 (4ヶ月)				製造・単体テスト・製造FB (8ヶ月)																																													
件	共通機能																																																				
確	基本設計 (3ヶ月)			詳細設計 (4ヶ月)				製造・単体テスト・製造FB (8ヶ月)																																													
定																																																					
要																																																					
件																																																					
確																																																					
定																																																					
要																																																					
件																																																					
確																																																					
定																																																					
要																																																					
件																																																					
確																																																					
定																																																					
要																																																					
件																																																					
確																																																					
定																																																					
要																																																					
件																																																					
確																																																					
定																																																					
要																																																					
件																																																					
確																																																					

2.2 基本設計の結果

- 全サブシステムで工程完了条件を達成しており、基本設計工程は完了可能と判断。

基本設計工程の工程完了条件の達成状況

基本設計工程の工程完了条件	意匠商標方式 サブシステム	意匠実体 サブシステム	商標実体 サブシステム
要件確定工程で開発スコープとした対象（機能、画面、書類、IF等）に対して設計書が作成されていること	○	○	○
基本設計工程で作成する全設計書のレビューが完了していること（アーキテクチャ標準仕様の技術的整合性検証含む）	○	○	○
設計書に対する指摘への対応が完了していること（次項の申し送り事項を除く）	○	○	○
未解決事項がある場合は、特許庁の承認の上で、申し送り事項として整理されていること	○	○	○
基本設計内容についてユーザ原課を含めて承認が完了していること	○	○	○
機能群ごとのエラー抽出密度が品質指標値内に収まっていること	○	○	○

凡例 ○達成 ×未達成

3 詳細設計について

➤ 各サブシステムの詳細設計を2023.12～2024.7の8ヶ月間で実施

業務AP開発・移行スケジュール

＜各サブシステムの詳細設計と並行して実施する作業＞

- ✓ 各サブシステムのインプットとなる共通機能は先行して製造・単体テストを実施
 - ✓ 移行詳細設計（業務運用制限検討、現行データ調査、新旧データマッピング作成）を実施